

肉製品、乳製品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	工場内で荷物を運搬中に足を滑らせ転倒し、右膝皿を骨折した。	36～29	10
1	14～15	当社の包装室において、包装されてラインから出てきた商品入りの袋（約15cm四方、重さ70g前後）を、厚みを揃える潰し機のベルトコンベアに載せる作業中、ベルトコンベアに乗せた袋がずれていたため置き直しをした際に、ベルトコンベアと潰し機の間で右手が巻き込まれてしまい、受傷した。	64～299	100
1	11～12	被災者は冷凍庫内で冷凍牛タン（1ケース約7kgのもの）19ケースをラックの2段目に手で積み上げ作業を行っていた。18ケースを積み上げようとした時に足を滑らし転倒し、腰椎圧迫骨折（横突起骨折）を負った。	67	—
1	17～18	工場において、清掃作業中に右手でデッキブラシを持ち、水切り棒に交換に行く途中で、廊下のグレーチングの上で滑り、後ろに転倒し、左手をついた時に骨折した。	64～99	50
1	16～17	ペットフード製造工場で、製品を台車の上に積み上げていたとき、足元にあった空の台車に気が付かず、足を取られて転倒し、左ひざを打つ。	65～299	100
2	13～14	被災者は、2期棟1階充填ラインで作業に従事していた。惣菜計量機を操作する為、2段のステップに上がる際、右足が2段目左足が1段目にある状態で左足が滑り胸を打った。ステップ右側には手すりがあり、つかまっていたが体を支え切れなかった。	59～999	500

2	14~15	当社バラ凍結場内において、トンネルフリーザーの掃除をするため、トンネルフリーザーの扉を開けた時に、凍っていた床に足を滑らせて転倒してしまった。その際に頭部の上の方を床又は壁にぶつけてしまい、コブが出来てしまった。	54	100 ~ 299
2	15~16	食肉加工工場内のスライサー（肉を自動でカットする機械）の作業中に床面で足を滑らせ、後ろ向きに転倒し、その際、右肘を強く床面に打ちつけ右肘を骨折した。	71	10 ~ 29
2	9~10	台車を使い当社冷蔵庫に製品を搬入し出る際に、バランスを崩し転倒負傷した。（足が滑った。）	43	10 ~ 29
2	12~13	昼休みに帰宅するためロッカーへ向かう途中、トイレ前通路で滑り膝から転倒した。この事故直前には、トイレ清掃・清掃業務委託先が清掃しており、通路上の水拭きがきちんとして行われておらず表面に残っていた水膜状態の中で発生したものである。転倒時に直前を歩いていた者が気付き、その他数名の手をかり、しばらく安静の後、病院にて受診となったものである。	66	30 ~ 49
2	16~17	原料の鶏を搬出の為、場内設置の冷蔵庫室内へ商品を取りに入った際、誤って足を滑らせて転倒した。臀部と腰部を強打した。当日は痛みがあったが終業時間まで勤務した。その後、痛みがひかない為、病院受診し尾骨骨折の診断となった。	35	30 ~ 49
3	11~12	製品の移動中、豚モツが床に落ちているのに気づかず踏んでしまい、滑って転倒し、左肘を強打した。	54	30 ~ 49
3	13~14	センター内洗浄室で番重を洗浄しているとき、バランスを崩して転倒し、左手を打ってしまった。当初痛みはあったものの様子を見ていたところ、徐々に腫れが増してきた。	51	100 ~ 299
3	13~14	歩道上にて、取引先に商品を納品する為、荷物を持って歩道を移動中、一部御影石になっているところで足が滑り、咄嗟に右手をつき右手小指を骨折した。	53	30 ~ 49
		豚解体室から脂クズの入ったタンクを押して内蔵生冷却庫に入室し、生冷却庫の中間		100

3	13~14	ぐらいに差しかかった際、足を滑らして後方に転倒し、頭を打った。	51	~ 299
4	10~ 11	工場作業場内で羊腸の脱塩作業をしていたときに、流し台（シンク）に水を引き込むホースに足を引っ掛け転倒し、ひざから地面につき骨折した。	56	30 ~ 49
5	14~ 15	当社加工工場冷凍庫内において、製品整理中に床が凍っていた為、足を滑らせて転倒し、左膝を骨折した。	71	30 ~ 49
6	16~ 17	食肉加工室で清掃作業中に床が濡れている為、滑って転倒した。その際、左腕を床に強打し、冷凍ストッカーと床との隙間に左手が入り込み、母指を脱臼した。	55	1~ 9
6	9~ 10	当工場において、衣付け作業の交代に入ろうと歩行していた際、足を滑らせ右手を床につくように転倒した。	58	50 ~ 99
6	13~ 14	油脂製造場所のクッカー（脂炊き釜）の下にある蓋を専用の棒状の器具で閉めようとした際、棒が外れ、バランスを崩し、同時に立っていた床が滑り、手をついてしまい右肘を脱臼した。	35	10 ~ 29
6	17~ 18	作業場内で洗浄した機械の部品を、台座にコンテナを乗せた状態で、床を滑らせて移動中にバランスを崩し、直す際に足が滑り、左膝を床に打った。	22	100 ~ 299
7	9~10	閉店前に売場冷蔵庫の温度管理表を記入しようとしたところ、隣の店舗で通路のモップ掛けをした後の床が乾いておらず足を滑らせ転倒した。	54	50 ~ 99
7	14~15	当社製品の配達中、配達先でトイレを借り、向かう際にトイレ前にある段差に気がつかず、つまずき転倒。その際に全身を強打した。	52	50 ~ 99
7	11~12	アイスクリーム製造・バイターラインB2カートナーの業務に従事中、充填機とカートナー間のフィルム接続部の警報サイレンが鳴ったため、確認・復旧のため、	43	100 ~

		歩行中の方向を転換し、接続部に移動しようとした際、バランスを崩し左足に体重がかかり左足を捻った状態で転び骨折した。		299
7	9~10	当社工場内にてフライヤーに継ぎ足す用の一斗缶油を取りに行った際、長靴が滑って転倒し、顎から床に打ちつけ前下歯ぐきを強打し、下顎を骨折した。当日はそのまま仕事を継続したが、夕方になり体調が悪くなった。	25	50 ~ 99
7	15~ 16	冷凍等バルクアイス手取充填場で、充填後の2?カップアイスに蓋をし、コンベアに乗せる作業時に、作業台下のバケット台車に足を引っ掛けて転倒し、右足首を骨折した。	68	100 ~ 299
7	10~ 11	解凍設備でトラブルが発生したため、コンベアに長靴を脱いだ状態で上り、対応を行いコンベアから降りる際、バランスを崩し転倒してしまい、作業台（FRP）の隙間に右足人差し指が挟まり負傷した。	52	—
7	17~ 18	工場内の冷凍庫の中で後片づけをしているとき、食肉加工品を棚に片付け、出口に向かおうと歩いていたとき（長靴着用）、通路で滑って転び、左足膝を通路のコンクリートの床についたときに負傷した（左膝蓋骨骨折）。	69	1~ 9
7	16~ 17	冷凍保管庫にある半製品を台車で運び出すため、庫内に入り半製品の入ったダンボールを取ろうとした際、右足が滑りバランスを崩した。その際、前のめりに四つん這いの状態で転倒し、両手・両膝を床で打った。	67	300 ~ 499
9	15~ 16	食品製造現場で、袋入りスモークチップ（約16kg）を手で運びエレベーターの乗せる作業でエレベーター前に来た時、閉まる合図のブザーが鳴ったため慌ててエレベーターに乗ろうとしたところ、足が滑り後ろ向きに転んだが手にスモークチップの袋を持っていたため、手をつけず腰と背中を強打した。	33	100 ~ 299
9	9~ 10	工場に出勤し、私服から作業服に着替えるため、2Fの更衣室に入室する直線の廊下で足がもつれ床に顔面から転倒し、右頬骨を骨折した。	62	100 ~ 299
9	18~ 19	事業所内の原料冷凍庫内にて、翌日の準備作業の為原料運搬中、足を滑らせて転倒し右手をつき、右手小指付け根付近を亀裂骨折する。当日は痛みを我慢しそのまま帰宅、翌日手首が腫れた為受診する。	59	30 ~ 49

9	14～ 15	休憩後生産室に向かう途中、共用エリア（生産室入口下駄箱前）の階段を下りる際に、残り2段目付近で足がつまずき転倒し、床面に手首と顔面を打ちつけた。	58	100 ～ 299
9	9～ 10	事業所内に於いて、冷凍庫よりサンテナ搬出時、冷凍庫前のスロープで滑り後ろ向きに転倒し、腰と後頭部を強打し負傷した。	69	30 ～ 49
9	9～ 10	工場作業場内で作業中に歩いていた時に、左足が台車に躓き、バランスを崩して転倒し、右足太ももつけ根を打ち付けた。	58	30 ～ 49
9	3～4	当社出荷冷蔵庫内で、商品の出荷準備をしていた時、床面の凍結箇所ですり、転倒し右手を床についた際、右手首に全体重がかかり、負傷したもの。再発防止対策定期的に長靴底の摩耗を点検し、摩耗した物は交換することにした。冷蔵庫の温度を0℃から0.5℃に上げ、床面が凍結しないようにした。	49	100 ～ 299
9	12～ 13	工場の梱包室内で、他作業者が当人の背後を通過する際に、当人と接触した、当人は前側に転び、右膝を地面に着いた、接触者の声かけ等が不十分であった。	66	50 ～ 99
10	7～8	従業員専用駐車場より会社へ向かう途中、急いで車道を渡り、歩道を渡り終えて旧工場敷地内の通路に入った直後、転倒し、左手をついてしまったため、左手人差し指ならびに中指を骨折した。	55	300 ～ 499
10	16～ 17	工場1階加工室内にて作業終了後の清掃作業中に、ギャラクシーとミンチラインの隙間を通った際に、清掃中で床が水で濡れ滑りやすくなっており、又、接続配線コードに足が掛かり前向きに転倒した。転倒した際、右手、右肘を床についた為、右肩を脱臼し、その弾みで額を床に打ちつけて切傷した。	67	100 ～ 299
10	13～ 14	水産現場内でロータリー包装機清掃作業時、機械内に残った袋を取り除く為、黒い配線パイプを跨いだ状態で取り除き、右足を戻そうとしたところ、黒い配線パイプに右足が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。その際、左手首を床に着いて被災した。	59	100 ～ 299

10	18～ 19	3課4系の加熱ゼネレータ付近で作業していた際、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き操作盤に向かおうとした。その際、滑って転倒し、開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	～ 999	500
10	15～ 16	工場内で「箱流し」という回収された空箱を洗浄機に送る作業中に、2つあるベルトコンベアラインを移動する際に、足元に出ている水槽開閉レバーに足をひっかけ、レバーの近くにあるバルブで左脇を強打した。	60	～ 99	50
10	18～ 19	工場生産加工室において、ウインナーの加熱台車をシャワー室に搬送途中で高圧洗浄機ホースを踏み、体勢を崩し、左手で台車にさわりながら転倒した。その際、左手中指を切傷した。	47	～ 299	100
11	18～ 19	会社の裏にある駐車場において、終了業務にあたる車のカギを取ろうとした際、暗闇だったこともあり、誤って足を滑らせ、地面に強く手をつき負傷したものである。	61	～ 29	10
11	11～ 12	当社肉加工室において、肉のカット作業中、作業用まな板（高さ約90cm）上で、立ち位置の右先方にある自分の担当工程が終了した肉（カット済）を左側で作業する自分の次工程担当者側に移動させようと体の向きを変えたところ、足元が滑ってバランスを崩して尻餅をつく形で後方に転倒した際に腰を強打したため、受傷したものである。	53	～ 99	50
11	19～ 20	構内下請自社工場内において所定労働時間内通常業務中、ラックに製品を納め持場へ戻る為、扉を閉めようとして壁際に設けられたL鋼に躓き転倒する際に、前方に倒れたため両腕を体の重みで負傷した。	47	～ 299	100
11	14～ 15	合材工場において、ダンプの荷台で合材にシートを掛ける作業が終わりダンプから降りる時、ステップから滑り落ちた際、右膝を強打負傷したものである。	64	～ 299	100
11	16～ 17	第3工場センターレス室で心金製品の外観検査を行っている時に、袋詰めされた製品1袋（重量2～3kg）を椅子に腰掛けたまま持ち上げた際、背中に激痛が走った。3日程度自宅で療養した後、病院で診察してもらった結果、「胸椎圧迫骨折」と診断された。	67	～ 499	300

11	8~9	工場内作業場から駐車場に隣接する荷出しホールへ朝礼のため向かう途中、通路が水で濡れていて滑って転んだ。転んだ際、右手をついた為右手首を骨折した。	60	50 ~ 99
11	9~10	冷凍庫内で小分け作業の為、ピッキングをしている時に、床面が滑り易くなっており、後方に転倒し、腰部、頭部を打撲、左股関節を痛めた。靴も滑り易かった。	61	100 ~ 299
11	16~17	会社作業場にて、長靴を履いてテーブルを洗浄後、使用していた水道ホースを片付ける時に床が濡れており、滑り転倒し、体を支える為についた右手首を負傷した。	61	10 ~ 29
11	15~16	作業終了後、掃除当番のため掃除場所の洗い場に向かっている途中で、誤って滑り、左腕を強打した。	67	50 ~ 99
11	8~9	豚の枝肉保管庫で、枝押し作業中に、排水用の溝に躓き、滑ってお尻から床に転倒した。転倒後から、腰に痛みがあり、市販の痛み止めを服用し、自己治療で痛みが治まるものと思っていたが、後日に枝肉を出している時に、強い痛みが走り、痛み止めを飲んでも効かず、病院へ受診した。	35	10 ~ 29
12	7~8	処理場の敷地内で仕事に入る準備のためトラック運転席に置いてある仕事着を取り、トラックより2歩歩いたとき、本人の不注意から、長靴をはいていたが、雪で滑り転倒し負傷した。	43	10 ~ 29
12	10~11	当社作業場構内において、鶏を積んだトラックが到着したので、懸鳥ホームに報告と確認をするため、休憩室を出て、外を移動していた時、コンクリート地面が凍っている事に気づかず、滑って転倒し、右足首を骨折した事故である。	36	30 ~ 49
12	15~16	ピッキングセンターにおいて、商品の箱詰出荷作業中、別室作業の進行状況を確認しに徒歩で移動中、作業テーブルに貼り付いているクラフトテープの端が左足のズボンの裾に接着し、足がもつれて転倒した。その際、右足首を強くひねったため骨折してしまった。	63	30 ~ 49
		被災者は、工場のホーム上で、懸鳥の終わった空カゴの清掃をした後、下に降り		100

12	11~12	て、消毒後のカゴをホームの上から下に降ろす作業中に、地面が凍結していた為、足を滑らせ後ろ側に転倒し、体を支える為に左手を地面について骨折した。	39	~
12	10~11	食肉生産課工場内において、鶏カット作業中に、原料の鶏ムネ（1ケース12.0kg）を冷蔵庫からまな板まで両手で抱えて運搬中、床面で滑り、背面に転んだ。その際、支えるために着いた左手首を骨折した。	70	~
12	15~16	作業終了後、工場内で拭き掃除中に、右手に拭き掃除用のタオルを持ったまま移動していたところ、床が濡れていたため足を滑らせて転んだ。その際に左手をついたため、左手に全体重がかかってしまい、左手首を骨折した。	61	~
			299	
			300	
			499	
			50	
			99	

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)